

研究開発で差別化促進

三和油化工業 混酸分離やレアメタル回収で



三和油化工業・石根工場

液物産物の処理で実績を重ねる三和油化工業（愛知県刈谷市、柳均社長、0566-353000）は、研究開発力を生かした新規サービスの展開に注力する。先端技術を活用したリソ酸回収や排水中のフッ素除去、今後の大量排出が見込まれるリチウムイオンバッテリーの電解液処理といった最新のニーズに対応。優良産廃処分業認定を得た処理態勢と併せ、信頼性と付加価値の高いサービスを提供していく考えだ。

同社は本社が所在する刈谷市に3工場、茨城県稲敷市に茨城工場を保有。廃油、廃酸、廃アルカリ、燃え殻、廃プラスチック類、ばいじん（ダスト類）等の処分業許可を持つほか、特産産物の引火性廃油、腐食性廃酸・廃アルカリ、特定有害廃油・廃酸・廃アルカリの許可も持つ。今年3月には愛知県から産廃の両方で優良処分業認定を取得し、特産物だけでなく年間3万トンを扱う。廃棄物処理以外にもサービスの幅は広い。各種溶剤を

はじめとする廃棄物の再資源化を推進するリソ酸事業のほか、化学用品や油剤製品等の製造・販売も手掛けており、例えば油剤の販売と使用後の回収・リサイクルを一貫して請け負うなど、トータルでの提案力で差別化を図っている。独自のフッ素除去技術

は、リサイクル量に鉄鋼・セメント副原料化、再生溶剤、再生重油などとして年間7万トにも上る。近年力を入れているのが、半導体や液晶パネルの製造工程から排出される混酸の再資源化処理だ。ミキサー・セトラー設備による溶媒抽出で混酸からリソ酸等の単一酸を回収。リソ酸では、肥料原料はもとよりエッチングに再利用可能な高純度回収を実現した。また、溶媒抽出法を利用して貴金属やレアメタルも回収し、付加価値を高めている。フッ素系廃水では、

最近では、潤滑油や加工油の更張作業やタンクの清掃作業にも注力する。油剤メーカーとしての知見を生かして、診断も兼ねた作業やニーズに合わせた油剤の提案等も行う。油剤のことは当社にすべて任せれば安心だ、と顧客に感じてもらおうと

ループ会社のサンワ分析センターに加えて、自社にもゼロエミッショングループとして分析部門を組織し、誘導結合プラズマ発光分光分析装置（ICP-AES）や高速液体クロマトグラフィー等の高度分析機器を活用し、顧客の要望に応える。

「タプ情報提供型マーケティングを推進」モノと情報で顧客を開拓。環境業務支援サービス等を進めるアマタグループは、自社主催セミナー等を活用した情報提供型のマーケティング活動で事業拡大を目指す

が大切。その信頼感が他のサービスの利用へとつながる」と同社は話す。こうした姿勢は、グループ会社のサンワリユースとして行っているPCBの収集運搬にも貫かれている。高濃度・低濃度の両方に対応し、分析や処理方法の提案をし、最適な処理をコーディネートする。PCB専用のタンク車を保有しているほか、場合によっては保管容器の補修も行うなど、安全確保に配慮した質の高いサービスを提供している。

「リスク・コスト・環境負荷」の同時削減を提案する。さらにセミナー等の開催で、人材育成や環境教育の場も提供。排出企業が環境価値をいかに高めるか、といった課題に働きかけることで、見込客の取り込みを図る。主催セミナーの動員数は順調に増加しており、ニーズの高まりを実感しているという同社。「近年はコンプライアンスの意味も広がっており、単に法律遵守というだけでなく、道徳の部分さえも問われる時代。そうした部分へ積極的に働きかける意味でも、当グループの事業フィールドをうまく利用していただければ幸いです」とした。

多くの場合、リサイクル意識の高まりから、排出先も再生利用を期待している部分がある。こうしたニーズにこたえるべく、幅広いサービスメニューを用意し、技術力を高めて、トータルで貢献していければ幸いだ」としている。



金属くず、自動車を月間5000t処理している

潮来工機

剥線機や金属分析器を導入

非鉄金属の加工処理を強化

鉄・非鉄金属のリサイクルを手掛ける潮来工機（茨城県神栖市、西谷年弘社長、029-9822078）は、電線剥線機や金属分析器などを導入し、非鉄金属の加工処理を強化している。日本全体では3200ト発生しているが、中国に輸出されている。同社ではハンマミル破砕機と磁力選別機

の設備を導入し、非鉄金属の加工処理事業を強化する。金属スクラップの付加価値を向上させ、エンドユーザーへの売却も検討する。同社では、ギロチンやカープレスなどの処理設備に加え、鉄や非鉄、使用済み自動車の処理を月間約5000ト



金属分析器を新しく導入した

を月間約5000トを処理している。剥線機や加工機を一層力を入れ、売却額の引き上げを図る。同社は1899年（明治32年）に古物商として創業した。鉄くずや非鉄金属の加工のほか、使用済み自動車の破砕処理や自動車解体機などの事業としており、第一種・第二種フロン回収の登録も受けている。今後非鉄に主軸を移し、扱量の拡大

を目指す。同時に選別や加工に力を入れ、売却額の引き上げを図る。同社は1899年（明治32年）に古物商として創業した。鉄くずや非鉄金属の加工のほか、使用済み自動車の破砕処理や自動車解体機などの事業としており、第一種・第二種フロン回収の登録も受けている。今後非鉄に主軸を移し、扱量の拡大

環境省は、再資源化事業者提案型の小型家電リサイクルシステム構築実証事業について、ストックホルムデザイン（東京・墨田）、大栄環境（大阪府和泉市）、

環境省は、再資源化事業者提案型の小型家電リサイクルシステム構築実証事業について、ストックホルムデザイン（東京・墨田）、大栄環境（大阪府和泉市）、

環境省は、再資源化事業者提案型の小型家電リサイクルシステム構築実証事業について、ストックホルムデザイン（東京・墨田）、大栄環境（大阪府和泉市）、

環境省

環境省は、自動車リサイクル連携高度化事業の成果報告会を7月9日に都内で開催した。同事業は「自動車リユース部品の利用」「自動車に使用している有用金属の回収」「自動車シュレッダーダスト（ASDR）の発生抑制・材料リサイクル」に関する課

は、カーシュレッダーの回収率を向上させる。回収した部品は、自動車に使用している有用金属の回収率を向上させる。回収した部品は、自動車に使用している有用金属の回収率を向上させる。

は、カーシュレッダーの回収率を向上させる。回収した部品は、自動車に使用している有用金属の回収率を向上させる。回収した部品は、自動車に使用している有用金属の回収率を向上させる。

は、カーシュレッダーの回収率を向上させる。回収した部品は、自動車に使用している有用金属の回収率を向上させる。回収した部品は、自動車に使用している有用金属の回収率を向上させる。

は、カーシュレッダーの回収率を向上させる。回収した部品は、自動車に使用している有用金属の回収率を向上させる。回収した部品は、自動車に使用している有用金属の回収率を向上させる。

金属回収・リユース成果報告

の発生抑制・材料リサイクル」に関する課

は、カーシュレッダーの回収率を向上させる。回収した部品は、自動車に使用している有用金属の回収率を向上させる。回収した部品は、自動車に使用している有用金属の回収率を向上させる。

は、カーシュレッダーの回収率を向上させる。回収した部品は、自動車に使用している有用金属の回収率を向上させる。回収した部品は、自動車に使用している有用金属の回収率を向上させる。

は、カーシュレッダーの回収率を向上させる。回収した部品は、自動車に使用している有用金属の回収率を向上させる。回収した部品は、自動車に使用している有用金属の回収率を向上させる。

は、カーシュレッダーの回収率を向上させる。回収した部品は、自動車に使用している有用金属の回収率を向上させる。回収した部品は、自動車に使用している有用金属の回収率を向上させる。

は、カーシュレッダーの回収率を向上させる。回収した部品は、自動車に使用している有用金属の回収率を向上させる。回収した部品は、自動車に使用している有用金属の回収率を向上させる。

は、カーシュレッダーの回収率を向上させる。回収した部品は、自動車に使用している有用金属の回収率を向上させる。回収した部品は、自動車に使用している有用金属の回収率を向上させる。

統合型産業廃棄物業務パッケージソフトウェア
SMS 産廃ソフト
詳しくはネットで「産廃イチロー」検索
導入済みユーザー数1562社（2013年6月現在）
株式会社エスエムエス

環境省は、再資源化事業者提案型の小型家電リサイクルシステム構築実証事業について、ストックホルムデザイン（東京・墨田）、大栄環境（大阪府和泉市）、

環境省は、再資源化事業者提案型の小型家電リサイクルシステム構築実証事業について、ストックホルムデザイン（東京・墨田）、大栄環境（大阪府和泉市）、

環境省は、再資源化事業者提案型の小型家電リサイクルシステム構築実証事業について、ストックホルムデザイン（東京・墨田）、大栄環境（大阪府和泉市）、

洗淨と粉碎を同時処理
洗淨 粉碎
Washing Granulation
創造の産業機械 Creative Industry Machinery
日本シーム株式会社
本社・工場 〒334-0054 埼玉県川口市安行北谷665
TEL.048-298-7700(代) FAX.048-298-7750
URL: http://www.nihon-cim.co.jp/